プラント一括受注構築

エンジ分野に事業領域拡大

協和ステンレス

▲食品加工工場などでプラントの一括受注を目指す（イメージ）

【南大阪】協和ステンレス（大阪府和泉市、延近尚子社長）は、食品加工工場などのプラント工事を一括で受注できる体制を整えた。食品、薬品、化学業界向けに衛生度が重視されるサニタリーパイプや継手を製造しているが、これまでは配管工事用の部材供給にとどまっていた。エンジニアリング分野に事業領域を広げることで、さらなる成長を狙う。既存事業との相乗効果も織り込み、2022年10月期に2億円の増収を見込む。

20年に取引先からの依頼を受けて、初の大型案件に取り組んだことでノウハウを獲得した。事業推進への手応えを得たことから、今夏あらためて社内に工事プロジェクトチーム（PT）を立ち上げ、このほど提案営業などを本格的に始動させた。

配管メーカーが直接、エンジニアリングを手がけることで、工事に必要な部材製作にかかる日数の短縮が可能。PTは技術、製造、営業の各部門が参加する全社横断の組織で、受注案件ごとに編成し「顧客の要望に寄り添う」（延近社長）という。

協和ステンレスはサニタリー配管に関するステンレス製部材を中心に、製品の企画、設計から製管・研磨・洗浄までの全工程を内製化する。管表面を機械研磨よりも平滑にする〝電解研磨〟をはじめとする技術力を生かし、高い安全品質が求められる業界で事業を拡大してきた。

PVCコンパウンド拡販

西日本商工　米社と代理店契約

西日本商工（大阪市北区、岡本浩三社長）は、自動車業界向けにポリ塩化ビニール（PVC）コンパウンドの販売を始めた。米国の材料メーカー、テクノアペックス（ロードアイランド州）と代理店契約を締結。すでに大手ガラスメーカーで評価に入っているという。西日本商工は製造事業で自動車のリアガラス向け端子などを手がけており、その販路を使ってテクノアペックス製品も拡販する。

テクノアペックスのPVCコンパウンドは、自動車の窓ガラス封止などに使われている。日本の自動車メーカーでも海外では採用されているが、日本国内では実績がなかった。西日本商工では京都府内に物流拠点を確保し、供給体制を整えた。3年後に2億―3億円の売上高を見込む。

米中で生産するテクノアペックス製品のコスト競争力を訴求して自動車メーカーやガラスメーカーなどに売り込む。加えて、コロナ禍を契機にグローバルで調達を多様化する動きにあることも追い風になると見ている。

西日本商工は自動車産業向けを中心に産業用機械や工具を販売。そのほか製造事業で各種部品を自社で生産している。最近ではイタリアのセンサーメーカーとも代理店契約を結んでおり、海外メーカー製品の取り扱いも強化している。

地域を支える成長企業

24

共立電機製作所

▽所在地＝宮崎市高岡町高浜1495の55▽売上高＝非公表▽設立＝67年（昭42）5月

配電盤、震災時倒れず話題

植物工場など新事業にも意欲

共立電機製作所（宮崎市、米良充典社長）は、米良電機産業（同）を中心とする企業グループの一員で、モノづくり分野を一手に担う。主力は配電盤（キュービクル）といわれる受変電設備。本社工場は約3万5000平方㍍の広大な敷地を有し、キュービクルを600面以上並べられるという。

同社が地域を代表する企業グループに成長したきっかけは1995年の阪神・淡路大震災だった。震災によりライフラインが寸断された被災地で同社製のキュービクルは倒れずに機能し続けた。これが業界関係者の中で話題となり、大手電機メーカーや商社との取引が徐々に増えていったという。

配電盤に続く新事業の創出にも意欲的だ。発光ダイオード（LED）事業は着手し始めてから15年ほどになる事業。再生可能エネルギーに対する意識の高まりとともに需要が増えつつある。高さ8㍍におよぶソーラーパネル用のポール商品のほか、高天井製品などの特注品、特殊品を手がけ、他社との差別化を図っている。

▲受電設備が並ぶ本社工場

植物工場事業はLED事業をきっかけに生まれた。レタスなどの葉物野菜を建物の中で育てる事業で、育成のためにLEDを使用する。

同社の顧客は関東圏が6割、関西圏が3割を占める。県外との取引が圧倒的に多いが、地元重視の姿勢はいろいろな場面に見られる。米良充朝副社長は「地域への還元というとおこがましいが、育ててもらったお返しをしていきたい」と話す。

地元の宮崎市高岡町には2018年以降の3年間で319台のLED防犯灯を寄贈。新型コロナウイルスの影響でこの1年余りは実施できていないが、平時であれば年間400人以上の小中高校生らの工場見学を受け入れていた。

17年4月には、宮崎県内では初の認定こども園となる「さんこうこどもえん」を本社の隣接地に開設した。現在は30人を超える子どもたちが在籍している。受け入れているのは同社社員の子どもだけではなく、社外の人の子どもも10人ほどいるという。

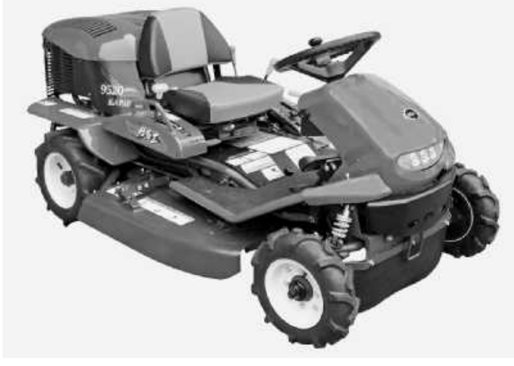
今、社内では三つの〝100〟がキーワードになっている。『100億円売って、100万人から愛される、100年続く会社を目指そう』。自社売り上げ100億円を達成し、宮崎県の人口（約106万人）に相当する人たちから愛される100年企業を目指して―。地元とともに地に足を付けた活動を続けていく構えだ。

（METIジャーナル10月号）

（随時掲載）

乗用草刈り機導入調査

アテックス　インドでマーケ事業



【松山】アテックス（松山市、村田雅弘社長）は、インド・タミルナドゥ州における乗用草刈り機「刈馬王（かりばおう）」＝写真＝の導入・販売に向けた調査・マーケティングを始める。国際協力機構（JICA）の「中小企業・SDGsビジネス支援事業」に採択されたもので、実施期間は2022年2月から同年12月まで。

調査・マーケティングは、同地域のマンゴーなどを生産する果樹農園やコーヒー豆を栽培する農園を対象に実施する。伊予銀行とも連携し、現地での販売代理店の開拓も行う。インドの農業被害の約45%が雑草に由来し、草刈りを手作業で行うことによるコストや時間が課題という。

アテックスでは、同社製品の導入で草刈りに要する労働力を10分の1に抑えることが可能としている。

拓南製鉄が工場見学会

拓南製鉄（沖縄県沖縄市、八木実社長）は、本社・中部事業所で工場見学会を実施した（写真）。参加者は隣接する拓南商事（同うるま市）で自動車・家電の解体工場を訪問後、拓南製鉄で鉄筋製造工程を見学した。スクラップがリサイクルされ製品化する過程を一貫して体験した。沖縄県工業連合会（那覇市）など主催の恒例イベント「沖縄の産業まつり」の一環で一般向けに開放した。

普段は接することのない現場に、参加者は熱心に質問を投げかけたり、スマートフォンで写真を撮影したりと楽しんだ様子だった。設備の調整中で今回は行程になかったが「次は製鋼工場での溶鋼工程も見てみたい」と期待する声もあった。

「産業まつり」は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年からオンラインと併催し、県内全域に会場を分散した形に移行している。工場見学でも感染対策で1回の人数をしぼって実施した。総勢200人ほどが参加した。

（那覇）

中国地域白書2021発刊

中創研と中国電

【広島】中国地域創造研究センター（広島市中区、瀧本夏彦会長）と中国電力は「中国地域白書2021　関係人口を探る―中国地域の次世代のために―」を発刊した。居住地と異なる地域のためになる行動・活動に関与する関係人口を、地域活性化の重要なテーマとして取りあげた。

白書は大都市圏と、人口20万人以上の中国地域の都市で、関係人口の意識調査を実施。関係人口を地域に呼び込むには、地域とのつなぎ役の発掘、育成やサテライトオフィスなどの受け入れ体制の整備が必要としている。

一方、近隣都市圏の関係人口は、特定個人の支援だけではなく、地域を下支えする共助につながる取り組みの必要性を説明。広域都市圏内での関係人口の活発な流動環境の形成を求めた。

軽石漂着被害　相談窓口を設置

内閣府沖縄総合事務局

【那覇】内閣府沖縄総合事務局は、海底火山・福徳岡ノ場の噴火による軽石の漂着被害について、中小企業などの相談を受け付ける窓口を設けた。影響を受けた中小・小規模事業者の相談対応と被害情報の収集を目的とする。那覇市の同局経済産業部中小企業課に置く。

受付時間は月―金曜（祝日を除く）9―17時。電話（098・866・1755）。電子メールでも受け付ける。

経営革新計画　承認

大分県・9件

【大分】大分県は中小企業等経営強化法に基づき、10月分として9件の経営革新計画を承認した。承認企業とテーマは次の通り。

▽光電（国東市）＝海から陸への市場拡大へ～船上トイレの技術を生かした革新的な介護用水洗トイレ「まんびん」の開発・製造および販路開拓▽ムロヤ（中津市）＝歴史を紡ぐ。九州で2番目に古いしょうゆ蔵による地域との「ツナガル」プロジェクト▽藤田化工（玖珠町）＝完全下請け生産からの脱却！自社技術を生かした新商品（マスクインカバー）開発および販売▽夢野菜おおざいファーム（大分市）＝コロナを乗り越えるための設備改修と販路開拓で経営の安定化を図る▽後藤農園（同）＝独自の休眠技術と商品特性を生かしたこだわり自然薯の通年販売▽井上酒造（日田市）＝スイーツリキュールの開発▽新栄クリーンサービス（同）＝回収物をゴミにしないシェアリングエコノミー推進とリサイクル化事業▽ケイティーエス（杵築市）＝次世代Wi-Fiアクセスポイントシステム▽エコ・ワールド（玖珠町）＝世界の方々に安眠を！自社開発製造装置による新概念クッションマットレスの海外市場開拓

宮崎県・3件

【宮崎】宮崎県は中小企業等経営強化法に基づき、9月分として3件の経営革新計画を承認した。承認企業とテーマは次の通り。

▽牛谷自動車（都城市）＝新型レッカー車導入による新規ロードサービス需要の取り込み▽村田靴店（高鍋町）＝宮崎牛革インソールおよび自社オリジナル紳士靴の開発販売▽旬果工房てらす（日之影町）＝日之影町産ジャムを使用した洋菓子「ひの果」の販売

おことわり　「躍動ニューノーマルを生きる成長企業群」は休みました。

ティールーム

楽しみに待って

仁坂さん

▽…「ゴツゴツしているが、めちゃくちゃ甘い」と、笑顔を見せるのは和歌山県知事の仁坂吉伸さん。県果樹試験場が開発した、甘柿の新品種『紀州あかね』を発表した。

▽…収穫時期が早いのが特徴。秋が旬の柿で既存品種の端境期を埋める役割が期待される。肝心の味について「シャキシャキ感がある。食味がたいへんよろしい」とリポート。

▽…来年から苗木を流通させる計画。〝桃栗三年柿八年〟のことわざがあるように、店頭に並ぶまで時間がかかる。「楽しみに何年か待ってほしい」とアピールする。（和歌山）

隣の席のともだちは
学級委員、
隣の家のお父さんは
民生委員。

クラスに学級委員がいるように、
地域には民生委員がいます。
全国の市区町村に約23万人※、
ボランティアとして活動しています。
困りごと、心配ごとなど、
誰に頼ればいいか分からないとき、
気軽にご相談ください。
民生委員・児童委員は、
あなたのまちの
身近な相談相手です。

全国民生委員児童委員連合会　全民児連　検索
民生委員は児童委員でもあります

※厚生労働省 令和2年1月10日公表

気づきを、動きへ。

AC JAPAN

公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超す民間の企業と団体が
ひとつになって、広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。

公益社団法人 ACジャパン 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
◆広告についてのご意見・ご要望はホームページへ。 http://www.ad-c.or.jp